

総括

方向性

地域活動拠点（内向き）と観光（外向き）のどちらにも活用できるような場所として活用したい

- A・B・C班共に「観光や地域活動拠点のどちらかに特化した場所として活用するのではなく、地域内・外の人どちらにも活用できるような場所として活用したい」という方向性を持っていることが分かりました。
- 年齢層としては、できれば若い世代の人にも入ってきてほしいという意見はありました、子どもや高齢者に偏る班はなく、「どの年齢層も活用できる場所」となることを望んでいました。
- その中で「企業誘致」に対する関心度に差がある事が分かりました。A・B班は企業誘致に対する関心度が低く、地元の方が管理・運営していくのが望ましいという考えを持っていましたが、C班は企業誘致に対する関心度が高く「地域活動拠点（内向き）と観光（外向き）を両立できるような企業を誘致し、企業に管理・運営を任せること」が望ましいと考えていました。

施設イメージ

地域活動拠点	地域活動拠点 + 観光	観光
○ふれあい交流センター →高齢者の生きがいづくりや健康増進、地域の子育て支援を目的とした施設	○チャレンジショップ →空きスペース等を活用して初期費用を抑えて実店舗経営に挑戦できる →地元の方が洋服やお菓子などを作って販売し、地域住民や観光客と交流できる	○特産品の販売施設 →地元の農家や生産者が農産物を販売する
○コミュニティセンター →地域住民が集い、交流し、さまざまな活動を行うための多目的施設	○体験型学習施設 →家庭科室を利用した秩父地域の食材を使った料理体験等	○キャンプや宿泊施設 →子供たちがスポーツ交流や宿泊合宿等ができる
○子育て支援センター →親子が集い、育児の悩みを共有し、地域のサポートを受けたための施設	○道の駅 →食料品や花の購入や農産物販売もできる施設	○博物館 →長瀞町の地質特性を活かし「長瀞町+世界」の岩石等の展示物を集め、地球の歴史を学べる学習拠点
○史跡・歴史資料館 →地域の歴史的資料や学術的資料が集められ、保管されている施設	○ビズターセンター →長瀞町デジタルマップの設置	
○防災拠点施設 →災害時の避難所機能維持 →日常的には住民の集会や文化活動の場	○複合交流拠点 →長瀞町の図書館や飲食店、学童保育施設等の子供から高齢者までが、安心して長時間滞在できる場所	

廃校活用事例

多目的利用スペース：シェアライブラリ（福岡県田川市 いいかね palette）

○概要

「福岡コンテンツバレー構想」の中心拠点となっているいいかね palette（旧猪位金小学校）内にある多目的に利用ができる施設。読書や勉強、コワーキングスペースのほか、貸し切りによる音楽ライブやマルシェ等にも利用されている。

○管理体制（いいかね palette 全体）

コンセッション方式と完全独立採算制を採用している。

また、初期費用や経営が安定するまでの間の光熱費などは市が負担している。



運営主体：民間（株式会社 BOOK）

チャレンジショップ：よいやれ屋-Yoiyareya-（福島県昭和村 噛丸小）

○概要

昭和村役場による事業として、喰丸小（旧喰丸小学校）にて開催されているチャレンジショップ。町民が出店者となり、手仕事などのミニ体験や、工芸品・食べ物の販売などが、不定期で行われている。

○管理体制（喰丸小全体）

喰丸小は村が管理すると喰丸小条例で定められている。改修費や管理運営費についてはクラウドファンディング型のふるさと納税で募った。



運営主体：行政（昭和村）

団体向け宿泊施設：ちょうなん西小（千葉県長南町）

○概要

ちょうなん西小（旧西小学校）は1日1組限定の団体向け宿泊施設。宿泊者以外に、日帰りの方でも利用できる施設や体験があるほか、一般開放している交流スポットもある。

○管理体制（ちょうなん西小全体）

企業と使用賃借契約、地域活性化包括連携協定書を締結し、企業が運営主体となっている。



運営主体：民間（株式会社 マイナビ地方創生）

グランピング施設：ETOWA KISARAZU（千葉県木更津市）

○概要

ETOWA KISARAZUは廃校となった旧富岡小学校をリノベーションしたグランピング施設である。施設内にはマーケットやカフェラウンジ、プレイルーム等の設備がある。

○管理体制（ETOWA KISARAZU 全体）

地域活性化事業を行うため、公募により選出した企業と不動産賃付契約を締結しており、企業が運営主体となっている。



運営主体：民間（株式会社 コスモスイニシア）

体験型学習施設

秩父銘仙館（埼玉県秩父市）

○秩父銘仙館とは

国の登録有形文化財に登録されているこの施設は、伝統的な織物「秩父銘仙」等に関する資料を展示し、伝統的技術を継承することを目的として設置された施設である。

○体験について

裂織や手織り、型染め、藍染の体験ができる。



秩父織塾工房横山（埼玉県長瀬町）

○秩父の伝統をつなぐ場所

秩父地域の伝統的な織物「秩父銘仙」の伝統と技術を継承している工房である。かつて養蚕や染色が盛んだった秩父の染色技術と、自然の知恵を現代に伝え、多くの人に地元の文化に触れてもらうために体験提供や指導を行っている。

○体験について

藍染や草木染の体験提供のほか、オリジナル商品の販売や染色技法の指導を通じて、地域の伝統工芸を発信している。



小津和紙（東京都中央区）

○文化遺産である和紙を扱うお店

約1400年の歴史をもち「ユネスコ 無形文化遺産」にも登録されている手漉き和紙体験や、絵画や書道など幅広い用途に使用できる和紙の販売、和紙と小津の歴史の関わりの展示公開などをしている。

○体験について

日本の伝統的な和紙作り体験だけでなく、書道、水墨画、ちぎり絵、押し花、ガラス工芸など、様々なジャンルの体験を行っている。



篠原まるよし風鈴（東京都台東区）

○古い歴史を持つ江戸風鈴を扱うお店

江戸時代から伝わる技術を受け継いで制作しているガラス製の風鈴である「江戸風鈴」を扱うお店。「ものを作ることの楽しみ」「作ったものに思いを入れること」「作り手の思いが音になって感じられる事」などを実感して欲しいとの思いで風鈴の制作体験を実施している。体験参加者は学生が多い。

○体験について

1階部分は作業場となっているが、風鈴の展示や販売も行っている。工房も備わっており、ガラス吹き体験や絵付け体験ができる。



複合型交流施設

石橋複合施設（栃木県下野市）

○病院跡地活用の公民連携事業

地域住民が安全に利用できるサービスを効率的に提供するため、公民館と児童館の機能を複合化・集約化した公共施設。公民連携による公募型プロポーザルにて事業者を決定し、デザインビルドで施設整備を事業者にて行った。

○管理体制

公共施設（公民館・児童館）については設計施工を事業者が担い、管理は市で行っている。余剰地については設計施工、管理すべて事業者が行っている。



運営主体：行政（下野市）
民間（株式会社 カワチ薬品）

みんなの森 ぎふメディアコスモス（岐阜県岐阜市）

○大学跡地活用における事業コンセプト

みんなの森 ぎふメディアコスモスは、「知の拠点」の役割を担う市立中央図書館、「絆の拠点」となる市民活動交流センター、多文化交流プラザ及び「文化の拠点」となる展示ギャラリー等からなる複合文化施設。



○管理体制

管理については市が担っており、店舗等については個々に協定を締結している。

運営主体：行政（岐阜市）

道の駅

道の駅 果樹公園あしがくぼ（埼玉県秩父郡横瀬町）

○道の駅とは

「地域とともにつくる個性豊かなにぎわいの場」を基本コンセプトに国交省より認定されている公設民営施設。



○果樹公園あしがくぼ

国道 299 号線沿いかつ西武秩父線芦ヶ久保駅直結という利便性の高い道の駅。清流横瀬川のほとりに立ち、地元農家の育てた野菜や果物が豊富に揃うため、地元住民だけではなく観光客も多く集まる場所である。

運営主体：民間（有限会社 果樹公園あしがくぼ）

あ・ら・伊達な道の駅（宮城県大崎市）

○あ・ら・伊達な道の駅

国道 47 号線沿いかつ最寄り駅である池月駅から徒歩 4 分と近く、じゃらん（2024 年）全国道の駅グランプリ 1 位に選出。近くには江合川があり、農産物直売所や特産品、姉妹都市の物産販売コーナーがあり、年間 300 万人以上の人人が訪れる場所である。



運営主体：民間（株式会社 池月道の駅）